

2013年度「学生による授業評価アンケート」総括

2014年5月
授業向上委員会

2013度も2012年度に引き続き、前後期各2回（中間時、期末時）、計4回の「学生による授業評価アンケート」（以下、アンケート）を実施した。このアンケートの目的は、各教員がアンケート結果を踏まえ、当該科目の授業改善に取り組み、またこのことを通じて本学における授業内容の向上を図ることにある。以下は、今年度のアンケートの実施状況ならびにアンケート結果の特徴や問題点の総括である。

(1) このアンケートは専任教員全員が各期ごとに、担当科目のうち1科目以上の科目で実施することになっている。表1および表2は実施状況をまとめたものである。

	教員数(A)	実施教員数(B)		実施率(B/A*100,%)	
		中間	期末	中間	期末
人間科学部	41	37	36	90.24	87.80
スポーツ健康	18	14	13	77.78	72.22
国際交流	10	10	10	100.00	100.00
心理臨床・子ども	13	13	13	100.00	100.00
医療学部	17	16	15	94.12	88.24
医療工	9	8	7	88.89	77.78
健康栄養	8	8	8	100.00	100.00
芸術学部	13	11	11	84.62	84.62
アート・デザイン	7	6	6	85.71	85.71
トータル・ビューティ	6	5	5	83.33	83.33
全体	71	64	62	90.14	87.32

	教員数(A)	実施教員数(B)		実施率(B/A*100,%)	
		中間	期末	中間	期末
人間科学部	43	34	34	79.07	79.07
スポーツ健康	18	13	13	72.22	72.22
国際交流	11	8	7	72.73	63.64
心理臨床・子ども	14	13	14	92.86	100.00
医療学部	18	12	15	66.67	83.33
医療工	10	7	7	70.00	70.00
健康栄養	8	5	8	62.50	100.00
芸術学部	11	7	9	63.64	81.82
アート・デザイン	6	4	5	66.67	83.33
トータル・ビューティ	5	3	4	60.00	80.00
全体	72	53	58	73.61	80.56

第1に、全体のアンケート実施率（4回）は、ほぼ70%～90%の範囲にあり、極端に低いというわけではないが、必ずしも満足できるというわけでもない。1年間の実施率の推移は、90.14%（前期中間）、87.32%（前期期末）、73.61%（後期中間）、80.56%（後期期末）となっており、

最初のアンケートから徐々に低下していき、最後のアンケートで上向くという傾向が見られる。とくに、4回のアンケートで最低であった後期中間時の73.61%という数字は、このアンケートが専任教員全員に課せられていることを考慮すると、やはり低いと言わざるを得ない。

第2に、実施率を学科別に見ると、最も高い100%から最低の60%まで、かなりのばらつきが見られる。全体の実施率の改善を図るには、すべての学科で実施率の向上を図るだけでなく、低い実施率の学科で実施率を向上させることが不可欠である。今後の実施率向上への各教員の取り組みに期待したい。個々の教員がアンケートを実施するか否かは、たとえば、各教員の授業改善への関心の強さ、アンケートの目的の理解度などに依存すると考えられるので、各教員は、授業改善に関心をもつとともに、アンケートの意義を十分理解して、アンケートに取り組んでほしい。

(2) 開講学科別の実施科目数と評価点をまとめたものが、表3および表4である。これらの表の実施科目数は、その科目が対象とする学科を基準に各学科に振り分けたものである。また、教員によっては複数の科目でアンケートを実施する場合がある。これらの理由により、表1および表2の実施教員数と表3および表4の実施科目数は一致しない。

	実施科目数		評価点	
	中間	期末	中間	期末
人間科学部	31	30	79.09	81.48
スポーツ健康	12	13	79.37	81.17
国際交流	11	9	78.38	81.89
心理臨床・子ども	8	8	79.63	81.51
医療学部	21	20	77.99	77.89
医療工	12	12	80.51	81.02
健康栄養	9	8	74.64	73.19
芸術学部	17	16	78.77	80.21
アート・デザイン	7	8	77.71	79.05
トータル・ビューティ	10	8	79.51	81.38
教職	2	2	76.57	75.75
共通	14	10	75.43	75.39
全体	85	78	78.09	79.37

	実施科目数		評価点	
	中間	期末	中間	期末
人間科学部	28	32	80.02	78.76
スポーツ健康	11	14	79.73	80.06
国際交流	6	5	82.55	77.15
心理臨床・子ども	11	13	78.93	77.98
医療学部	17	20	76.52	76.83
医療工	11	10	78.65	79.84
健康栄養	6	10	72.95	73.82
芸術学部	9	11	84.25	80.73
アート・デザイン	2	4	77.59	78.37
トータル・ビューティ	7	7	86.16	82.07
教職	4	4	79.13	79.41
共通	8	8	77.45	74.22
全体	66	75	78.57	78.06

表3と表4を見ると、全体の評価点は、78.09（前期中間）、79.37（前期期末）、78.57（後期中間）、78.06（後期期末）となっており、すべてのアンケートで78点（100点満点）を上回っている。全体として、かなり良好な結果だといえるだろう。

評価点は、12項目ないし13項目の評価項目から10項目を対象とし、学生の満足度を問うた「この授業に全体として満足しましたか」という項目に他の項目の2倍のウェイトをかけて総合点を計算したものである。したがって、学生の満足度が評価点に比較的強く反映されることになる。この点を考慮すると、表3と表4に見られる全体の評価点は学生が授業に比較的満足していることを示唆しているといえる。また全体の評価点は、年間を通じて安定した推移を示しており、この点からも本学における授業が学生にとって満足度が高いものであることが窺える。

(3) 次に、評価項目ごとの評価点（全体）を見ることにする。

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12
前期中間	4.39	4.15	3.35	2.32	4.30	4.16	4.07	4.07	4.01	4.06
前期期末	4.36	4.23	3.49	2.42	4.31	4.17	4.13	4.12	4.14	4.15
後期中間	4.47	4.23	3.32	2.23	4.31	4.15	4.08	4.14	4.09	4.09
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
後期期末	4.24	4.14	3.34	2.30	4.31	4.16	4.09	4.11	4.12	4.06

表5は項目ごとの評価点をまとめたものである。このデータを見ると、最も低い評価点は、項目4（「この授業の授業公開サーバを利用しましたか」）の評価点であり、4回のアンケートですべて2点台（5点満点）となっている。これは授業公開サーバが学生に十分に活用されていないことを示しているが、授業でのIT活用が重要度を増している現在、学習支援システムとしての授業公開サーバの利用を促進するためには、まず教員がその重要性を理解すると同時に、その積極的活用を学生に促していくことが必要であろう。項目4に次いで低評価だったのは、項目3（「授業後のまとめや復習を十分に行いましたか」）であり、授業時間以外の学習が不十分であることを学生も自覚していることが示されている。この2つの評価項目を除いて、他はすべて4点台であった。全項目中、項目1（「この授業の出席状況を自己評価して、「よい」と言えますか」）（4回中3回で最高点）と項目7（後期期末時は項目8）（「教員は授業の準備を十分にしていたと思いますか」）が比較的高い評価点であった。したがって、今後は学生に授業への出席を促すばかりでなく、授業時間以外の学習をいかにして確保していくかが課題となる。

(4) 後期期末時のアンケート項目に、学生の学習時間に関する質問を追加した（「1回の授業に関し、予習や復習にどの程度時間をかけましたか」）。その結果は表6および表7の通りである。

表6 学科別学習時間(回答数)

	ゼロ	30分程度	1時間程度	1時間30分程度	2時間以上	合計
スポーツ	90	107	59	11	20	287
国際交流	6	19	10	1	2	38
心理臨床・子ども	66	53	23	10	19	171
医療工	56	147	66	11	10	290
健康栄養	57	50	29	8	10	154
アート・デザイン	32	13	13	0	4	62
トータルビューティ	14	15	13	1	10	53
教職	44	29	25	2	8	108
共通	67	92	67	14	6	246
全体	432	525	305	58	89	1409

表7 学科別学習時間(構成比,%)

	ゼロ	30分程度	1時間程度	1時間30分程度	2時間以上	合計
スポーツ	31.36	37.28	20.56	3.83	6.97	100.00
国際交流	15.79	50.00	26.32	2.63	5.26	100.00
心理臨床・子ども	38.60	30.99	13.45	5.85	11.11	100.00
医療工	19.31	50.69	22.76	3.79	3.45	100.00
健康栄養	37.01	32.47	18.83	5.19	6.49	100.00
アート・デザイン	51.61	20.97	20.97	0.00	6.45	100.00
トータルビューティ	26.42	28.30	24.53	1.89	18.87	100.00
教職	40.74	26.85	23.15	1.85	7.41	100.00
共通	27.24	37.40	27.24	5.69	2.44	100.00
全体	30.66	37.26	21.65	4.12	6.32	100.00

全体で最も多い解答は「30分程度」であった。次いで「ゼロ」という回答が多く、この両者で全回答数の約3分の2を占めた。学科別に見ると、「ゼロ」が最も多く、次いで「30分程度」という学科もあるが、いずれにせよ、本来4時間の学習時間が必要なことを考慮すると、授業時間以外の学習時間が少ないことは明らかである。とくに、かなりの学生が授業時間以外に全く学習をしないという結果は深刻に受け止めなければならないであろう。そして、このことは授業改善の余地が大いにあることを示しているといえる。

(参考)

今年度のアンケート用紙を以下のものを使用した。ただし、前期中間時から後期中間時までの3回については、質問項目5がなく全体で12項目である。

学生による授業評価アンケート 振り返り項目						
*このアンケート結果は「優秀授業賞」選者の参考にすることがあります。						
*注意：13までマークシートに記入してください。必ず鉛筆かシャープペンシルで記入のこと。						
○学生に関する質問(あなたの受講態度について)		とても 思う	まあまあ そう思う	どちらとも いえない	余りそう 思わない	全くそう 思わない
1	この授業の出席状況を自己評価して、「よい」と言えますか	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
2	あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
3	授業後のまとめや復習を十分に行いましたか	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
4	この授業の授業公開サーバを利用しましたか	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
5	1回の授業に関し、予習や復習にどの程度時間をかけましたか (1. ゼロ 2. 30分程度 3. 1時間程度 4. 1時間30分程度 5. 2時間以上)	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
○授業に関する質問(授業方法や内容について)						
6	この授業内容のレベルはどうか(1. とても難しい 2. やや難しい 3. 適切 4. やや易しい 5. とても易しい)	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
7	この授業の進み方はどうか(1. とても速い 2. やや速い 3. 適切 4. やや遅い 5. とても遅い)	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
		とても 思う	まあまあ そう思う	どちらとも いえない	余りそう 思わない	全くそう 思わない
8	教員は授業の準備を十分にしていたと思いますか	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
9	板書や配布物、提示資料は見やすかったですか	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
10	学生が理解したかを確認しながら授業を行っていましたか	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
11	教員の教え方はわかりやすかったですか	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
12	考え方や、能力、知識、技術などの向上がありましたか	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
13	この授業に全体として満足しましたか	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
自由記述						